

ダウンロードして持ち歩く「音楽」

Photo : Nakamura Tohru

# 携帯型MP3プレイヤー 購入ガイド

当初はパソコンで聴くものだったMP3ファイルだが、MPManの登場以来、数多くの携帯型MP3プレイヤーが発売されてきた。現在、国内で手に入るものだけでも10種類を下らない。そこで今回は、近日発売のものも含めて10機種をピックアップ。携帯性や操作性など10のポイントからその実用性を検証した。 藪 暁彦

Product Showcase

## 小さくて軽い！ 「MD」を超える携帯型音楽プレイヤー

MPEG Audio Layer-3、略してMP3は音声圧縮技術の1つで、ISO(国際標準化機構)で動画圧縮技術を研究するグループMPEG(Moving Picture Experts Group)が定めたものだ。数ある音声圧縮技術のなかで、MP3がこれほど注目を集めた理由は、高い圧縮率と音質の良さにある。CDに近い音質を保ったまま、ファイルを10分の1以下に圧縮できるのだ。音質をほんの少し犠牲にすればさらに圧縮率を高められ、ファイルサイズをもっと小さくできる。

こうして、MP3はまずインターネットでの音楽配信に利用された。そして、2年ほど前に発表されたMPMan初代機の登場で、今度はカセットプレイヤー、CDプレイヤー、MDプレイ

ヤーに続く第四の携帯型音楽プレイヤーの音源として注目されることになる。音楽ソースはインターネットを探せばいくらでもある。簡単なインターフェイスのエンコーダーが出回り、音楽CDからMP3ファイルを作るのも、それほど難しくはない。携帯型MP3プレイヤーが売れる土壌は、すでにできあがっている。

しかも、MP3プレイヤーはカセットプレイヤーなど従来の携帯プレイヤーと違って、モーターを必要としない。このため、プレイヤーのサイズを小さく、重量を軽くでき、バッテリーも長持ちする。さらに、駆動部分がないから音飛びの心配もない。まさに、携帯型音楽プレイヤーのために作られたような特徴を備えているのだ。

# 携帯型MP3プレイヤーの選び方 「実用度」徹底検証!

携帯型MP3プレイヤーの能力を判断するには、オーディオ機器としての機能や音のクオリティだけでなく、携帯機器としての評価も必要だ。そこで、国内で入手できる代表的な10機種について、携帯性、操作性、メモリーなど10の項目を挙げ、それぞれの能力を評価した。

## 1 携帯性

どんなものにして、持ち歩くならできるだけ小さくて軽いほうがいいし、取り上げた10機種の中には、もちろん持ち歩くことが苦痛なほど大きかったり重かったりするものは1つもなし。

とにかく小さくて軽いほうがいいというのであれば、一番はポケットデジタルオーディオに決まりだ。だが、それだけで携帯性を評価するのは間違いだ。持ち歩いている間には、どこかにぶ

つけることもある。ちょっとぶつかっただけで壊れてしまうようでは、怖くて持ち歩けない。携帯機器には一定の強度が必要なのだ。それを考慮すると、見た目にも頑丈そうなDAP64と、ケースがマグネシウムできているCreative NOMADの2機種なら、安心して持ち歩けそうだ。

バッグやポケットの中で押されてスイッチが入ってしまいそうなものも、携帯するには不安が残る。その点、スイッチ類が出っ張っていないCreative NOMADは安心だ。

### No.1 Creative NOMAD



Rio PMP300とRio 500には、オプションでリモコンと皮ケースが用意されている。

## 2 操作性

本体のサイズが小さくなればなるほど、スイッチ類も小さくならざるを得ない。そんな制限があるなかで、操作性を重視してデザインされているのがRio PMP300だ。このデザインは好き嫌いがあるが、はっきり分かれそうだが、操作のしやすさという点では評価できる。これなら誤操作の心配もない。

デザインが一変したRio PMP300の後継機Rio 500は、スイッチの配置で操作性を上げる工夫をしている。本体正面に取り付けられてい

るのは、頻繁に操作する再生/ポーズ、停止、早送りと巻き戻しの4つのスイッチだけ。残りのスイッチは、側面と上面に配置されているのだ。

しかし、いくら工夫したところで、ポケットやバッグに入れたまま操作するのは難しい。外出時の操作性という点では、液晶ディスプレイ付きリモコンを標準装備している富士通パーソナルズのFMP300Sが一番だ(Rio PMP300とRio 500はオプションでリモコンを用意)。携帯型MP3プレイヤーでも、いずれリモコン付きが当たり前になりそうだ。

### No.1 FMP300S



液晶リモコンを付けることで、家電製品に一步近付いたFMP300S。

## 3 記録メディア

携帯型MP3プレイヤーにはフラッシュメモリーが使われている。フラッシュメモリーにはいくつかタイプがあるが、今回、紹介するプレイヤーの増設メモリーに使われているのは、コンパクトフラッシュ(CF)カード、スマートメディア、マルチメディアカード(MMC)のいずれかだ。現在、MMCには容量が16Mバイトまでのカードしかない。そこが気になるところだが、10月には32Mバイトカードも発売される予定だ。

MP3ファイルが小さいとは言っても、標準的な設定でエンコードした場合、演奏時間1分につき約1Mバイトのメモリーが必要だ。CD1枚の演奏時間は平均60分程度だから、CDを丸々1枚MP3ファイルに変換するには60Mバイト以

上のメモリーが必要なことになる。そこで、プレイヤーを選択するときは64Mバイトを目安にし、増設にかかる費用をチェックしておくといいい。

MP-F30とRio 500の2機種が標準でメモリーを64Mバイト内蔵し、CreativeNOMADにも64Mバイトタイプの製品がある。さらにMP-

### No.1 MPMan MP-F30

F30、Rio 500の2機種は、32Mバイト増設して96Mバイトまでメモリーを搭載できる。本体と記録メディアの価格を考慮すれば、一番お買い得感があるのはMP-F30だろう。

#### 外部記録メディアの価格例

記録メディア		スマートメディア (3.3V)	マルチメディアカード (MMC)	コンパクトフラッシュ
容量	4MB	2,500円(4,000円)	5,500円	
	8MB	3,000円(5,000円)	7,500円	4,580円(6,000円)
	16MB	5,600円(10,000円)	8,800円	4,980円(7,000円)
	32MB	11,500円(15,000円)		9,800円(13,000円)
	48MB			14,800円(19,000円)

\*約4分の曲を1曲MP3ファイルにすると4MB程度になる

\*スマートメディアとコンパクトフラッシュはハギワラシスコム社製を参考。( )は定価





## 4 バッテリー持続時間

どの機種も単3電池が単4電池1本または2本で動作する。ユニークなのがFMP300Sで、単4電池2本のほか、CDプレイヤーなどで使われるガム型充電電池でも動く。

駆動部分のないMP3プレイヤーのメリットは、

電池が長持ちすることだ。10機種の中でもっとも電池の容量が小さいのはポケットデジタルオーディオの単4電池1本だが、それでも4時間半連続再生できる。最長連続再生を誇るのはRio 500。単3電池1本で、13時間も連続再生できるのだ。ちなみに、Rio PMP300も、単3電池1本で12時間連続再生できる。

## No.1 Rio 500



FMP300Sは単4電池のほかガム型充電電池(1本付属)も使用できる。

## 5 音量調整

ボリュームはもちろん全プレイヤーに付いている。大半は「+」「-」ボタンで音量をアップダウンする方式だ。だが、MPlayer3とポケットデジタルオーディオの2機種は、アナログのボリュームで、ダイヤルを回して音量を調整する。

おもしろいのが、Rio500のボリュームだ。携帯電話でよく見かけるようなジョグダイヤルを採

用し、指の腹を上下に動かして調整するようになっている。これなら、ポケットやバッグに入れたままでも操作できる。もっとも携帯時の操作性という点では、「2.操作性」でも触れたように、リモコンで操作するFMP300Sには負ける。

全体的に気になったのが、ボリュームの配置だ。用途を考えずに配置したのではないかと思われる機種が少なくない。こうした製品が続くようでは、MP3プレイヤーがMDプレイヤーに続

## No.1 Rio 500

く携帯型音楽プレイヤーとして一般に認められるのは難しいだろう。



再生/ポーズスイッチの両脇に配置されたMP-F30のボリュームボタン。

## 6 音質

音質の良さでは定評のあるMP3だが、データを10分の1以下に圧縮する以上、当然、音質が犠牲になる。この音質をひと一言で言えば「ドンシャリ」だ。もともと足りない高音域と低音域を無理やり強調したような、張りのないサウンドになってしまうのだ。また、中音域が足りないために、元のサウンドに比べると音像が細く小

さくなりがちだ。

再生時、MP3のデータはアナログにデコードされ、アナログのアンプを通してスピーカーやヘッドホンに出力される。音質は、このアナログ部分にも大きな影響を受ける。アナログ回路に気を使い、ドンシャリ感をもっとも抑えられているのは、10機種の中ではDAP64だ。音が多少細くなるのはやむを得ないにしても、バランスが取れている。また、FMP300Sの音も、 balan

## No.1 DAP64

スがよく聴きやすい。

とはいえ、10機種の中に、聴くに耐えないほどヒドイ音のプレイヤーはない。据え置き型のオーディオシステムで真剣に音楽鑑賞するのは、携帯型MP3プレイヤーの主用途は電車やバスの中で音楽を聴くことだ。シビアに音質を追求しても、それほど意味はないだろう。

## 7 ディスプレイ表示

ポケットデジタルオーディオにはまったく表示がない。電子機器には、動作状態を示すためになんらかの表示装置が付いている。普段、こうした表示を何気なく見ているが、ないとこれほど不便なものだとは思わなかった。Fresh Musicのように、最低限、電源のオン/オフくらいはわかるようにしてほしかった。

この2機種以外は、液晶ディスプレイに、プレイヤーの状態や再生中の曲の番号、演奏時間が表示される。ただし、FMP300Sだけは、本体ではなくリモコンにディスプレイが付いている。MP3ファイルの末尾には、128バイトのテキスト情報が付く。これをID3タグといい、ここに曲名やアーティスト名などの情報を記録できる。液晶ディスプレイ付きプレイヤーの中で、Rio PMP300とFMP300Sを除く6機種は、このID3タグに対

## No.1 Rio 500

応し、ディスプレイに曲名などが表示できる。

アイコンを使うなど表示にひと工夫しているCreativeNOMADのディスプレイは、表示スペースが小さいわりに見やすい。が、やはり大きなディスプレイにはかなわない。見やすさという点では、他機種と比べてサイズが大きいRio 500が一番だ。



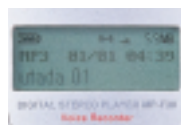
CreativeNOMAD



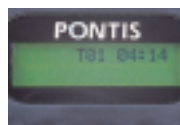
Rio 500



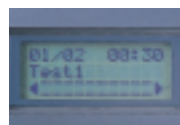
Rio PMP300



MPMan MP-F30



MPlayer3



DAP64



jazPiper

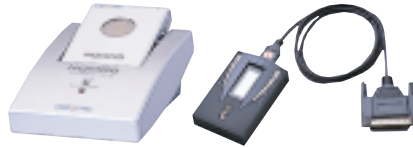


## 8 データ転送速度

データ転送速度はパソコンの接続ポートに左右される。もっとも速いのはUSBポート、もっとも遅いのはシリアルポートだ。例外もある。CFカードはPCカードアダプターを介してパソコンと直結できるため、ほとんど一瞬でMP3ファイルをコピーできる。

右の表はジェフ・ベックの「What Mama Said」(演奏時間：3分22秒、MP3ファイル：

約3.2Mバイト)の転送時間を計ったものだ。意外だったのは、同じパラレルポートでもプレイヤーによって転送時間に差があったことだ。



ファイルを転送するには、CreativeNOMADのようにドッキングステーションに本体を装着するタイプ(左)と、本体とパソコンをケーブルで直接接続するタイプ(右、DAP64など)がある。

## No.1 Fresh Music

データ転送時間比較表

	MP3プレイヤー	転送時間	転送ポート
1	Fresh Music	1秒以下	CFカード
2	Rio 500	7秒	USB
3	Rio PMP300	約20秒	パラレル
3	jazPiper	約20秒	パラレル
5	MPMan MP-F30	約40秒	パラレル
5	DAP64	約40秒	パラレル
5	CreativeNOMAD	約40秒	パラレル
8	ポケットデジタルオーディオ	約40秒	パラレル
9	FMP300S	約1分10秒	パラレル
10	MPlayer3	約5分20秒	シリアル

## 9 エンコーダー

MP3ファイルの音質は、エンコード(CDの曲をMP3ファイルに変換すること)時のデータ転送速度に左右される。転送速度が高いほど音質が良くなるが、ファイルサイズも比例して大きくなるので注意しよう。多くのエンコーダーは転送速度の初期値が128Kbpsに設定されていることが多い。この場合、演奏時間1分につき約1Mバイトの容量が必要だ。

一般的に、MP3プレイヤーにはデータ転送とエンコーダーの2つのソフトが添付されている。そこで、まずエンコーダーでMP3ファイルを作り、そのあとあらためて転送ソフトを起動しなければならない。ところが、Rio 500はこの2つを1つにまとめた「RioPort Audio Manager」を添付し、作業を効率よく進めることができる。

なお、プレイヤーによっては、エンコーダーが付属していなかったり、付いていても機能が制限されたデモ版だったりすることもある。

## No.1 Rio 500



「RioPort Audio Manager」は、エンコーダーとデータ転送ソフトが一体となっている。

### パッケージ販売されているエンコーダー

ほんの1年ほど前まで、エンコードには演奏時間の4～5倍の時間がかかるのが当たり前だった。が、今では演奏時間の4分の1から5分の1の時間でエンコードできるソフトも珍しくなく、操作も簡単になった。たとえば「早録MP3」(写真左)は、

CDをセットしてPC画面に表示された録音ボタンをクリックするだけで、CDに収録された全曲をエンコードしてくれる。また、「MP3 JukeBox by Music Match」(写真右)の最新版4.0のように、データ管理機能が充実したソフトも少なくない。



### パッケージ販売されている各種エンコーダー

製品名	標準価格	対応OS	発売元	URL
早録MP3	8,800円	Win98/95	(株)ソース	<a href="http://www.source.co.jp/products/mp3/">www.source.co.jp/products/mp3/</a>
MP3 JUKEBOX 4	7,800円	Win98/95B	住友金属システム開発(株)	<a href="http://www.smisoft.ssd.co.jp/product/jb/ver40/">www.smisoft.ssd.co.jp/product/jb/ver40/</a>
MP3 Studio イントロパック	5,800円	Win98/95/NT4.0	ランドポート(株)	<a href="http://www.landport.co.jp/mp3/intro/">www.landport.co.jp/mp3/intro/</a>
MP3 Music Collector	7,800円	Win98/95	TDK	<a href="http://www.tdk.co.jp/tjbbio1/bbio3200.htm">www.tdk.co.jp/tjbbio1/bbio3200.htm</a>
MP3 Jet-Audio	7,800円	Win98/95/NT4.0	(株)ノバック	<a href="http://www.novac.co.jp/soft/MP3jet_Audio/MP3jet_Audio.html">www.novac.co.jp/soft/MP3jet_Audio/MP3jet_Audio.html</a>
HyCD Play&Record	8,800円	Win98/95	(有)スリーアテクノロジー	<a href="http://www.3itech.co.jp/3itech/hycd.html">www.3itech.co.jp/3itech/hycd.html</a>
MacMP3 Player	12,800円	Mac OS8.1以降	(株)アクト・ツー	<a href="http://www.act2.co.jp">www.act2.co.jp</a>

## 10 付加機能

ライバルが急増している携帯型MP3プレイヤーは、さまざまな手をつくして他機種との差別化を図ろうとしている。その1つが多機能化だ。プレイヤーを、音楽再生以外にも使えるようにしようというのだ。

今回、ピックアップした10機種のうち、MP-F30、CreativeNOMAD、jazPiperの3機種が録音機能を備えている。録音時間はメモリーの量によって異なるが、1～2時間程度の会議なら余裕で録音できる。電話帳機能を備えたプレイヤーもある。MP-F30とjazPiperの2機種だ。MP-F30は電話番号に加えて、テキストも保存

## No.1 MPMAN MP-F30

できる。変わったところでは、CreativeNOMADの放送局プリセット機能付き(10局まで)FMチューナーがある。また、DAP64はMP3形式以外のファイルも保存できるので、パソコンの外部記憶メディアとしても利用できる。



# 携帯型MP3プレイヤーラインアップ

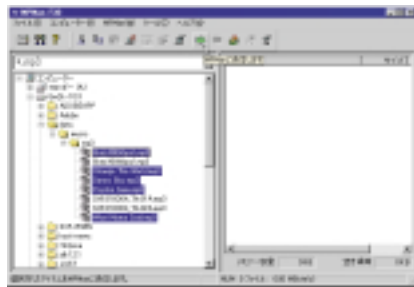
携帯型MP3プレイヤーの種類はあれよあれよという間に増え、いまや国内でも10機種以上が販売されている。今回はその中から10機種をピックアップ。特に、携帯性や操作性、音質やデータ転送などに大きく分けた10項目に対して各プレイヤーの特徴を総合的にチェックした。

MP3プレイヤーの可能性を広げる機能の多さが自慢

## MPMan MP-F30

MP-F30は単にMP3ファイルの再生だけでなく、録音機能も備えている。内蔵マイクで音声を録音できるほか、ライン入力端子も付いている。また、電話帳、テキストを表示するメモ機能を備えるなど、多彩な機能が特徴だ。電話帳やメモは日本語も表示できるが、メモは行頭、行末で文字化けするのが難。

全曲再生のほか、1曲リピート、全曲リピート、全曲ランダム再生など5つの再生モードがあり、音質はノーマル、クラシック、ジャズ、ロックなど6つから選べる。MP-F30はスタイルがユニークなだけでなく、MP3プレイヤーの用途を広げる可能性を秘めたユニークな製品だ。



左から、ヘッドホン端子、マイク、外部出力/入力端子。この形とマイクの位置で、音声の録音がラクに行えるうえ、外部出力端子で録音の幅が広がる。

¥ 27,800 (販売価格)

発売元 : 萬世電機(株)  
問い合わせ : 0120-837-010  
www.mansei.co.jp/mpman/



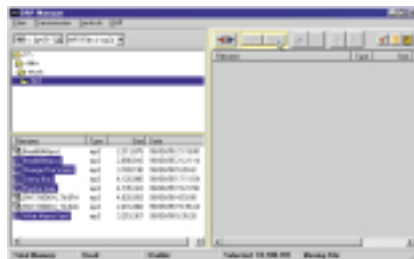
手にしっかりなじむ流線型ポディーを採用。操作ボタンはすべて本体前面に配置している。

音質重視派にオススメするシンプルなデザインのプレイヤー

## DAP64

ほとんどのMP3プレイヤーには、再生音に共通点がある。前にも触れた「ドンシャリ」だ。DAP64の音を聴いて最初に驚いたのが、このドンシャリ感がほかのプレイヤーに比べて極めて少ないこと。特に、アコースティックサウンドに向けた音質だ。もっとも、ディスコサウンド好

きは、物足りなさを感じるかもしれない。ツヤ消しの黒いポディーにシルバーのボタンを配置したデザインもいい。ボタンは丸い形状が普通だが、DAP64のボタンは湾曲した細長い棒のような形だ。最初は押しにくさを感じたが、慣れれば問題ないだろう。作りがしっかりしているので、安心して持ち歩けるのもDAP64の長所の1つだ。



本体側面にあるパラレルポートとヘッドホン端子。側面はこのほかにヘッドホン端子だけというシンプル設計。

¥ 28,800 (販売価格)

発売元 : スパーク(株)  
問い合わせ : 03-3473-2731  
www.jspark.com



ツヤ消しの黒いポディーを採用したシンプルなデザインは洗練された印象を受ける。

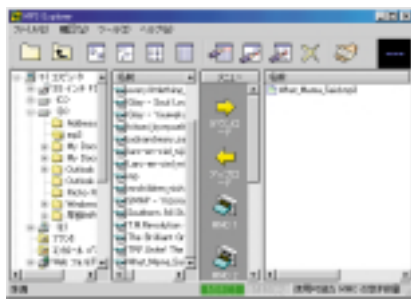




液晶リモコンが操作性をアップ

## FMP300S

FMP300S本体のデザインは好き嫌いが分かれるだろうが、インターフェイスはとてもシンプルだ。なにしろ前面には、再生、停止、早送りと巻き戻しの4つのスイッチしかない。だが、FMP300Sは通常再生のほか、リピートやランダム再生もできる。また、好きな部分だけ繰り返し聴けるブックマーク機能も備えている。これらは、付属のリモコンで操作する。この操作が実に分



かりやすい。難を言えば、リモコンにはサイズが少々大きすぎることだろう。

FMP300SのS/N比が85dB。スペック的にはほかの機種と比べて劣るが、実際に聴いてみると予想外に聴きやすい。10機種の中では、トップクラスのいい音だ。



本体を上から見たところ。左から電池ケース、ホルドレバー、ヘッドホン端子。

音量ボタンとカードスロット。MMCを2枚挿入できる。



¥ 20,000 前後 (販売価格)

発売元 (株)富士通パーソナルズ

問い合わせ: 0120-65-8180

www.fjp.co.jp



再生は前面上部の円形部分中央に、巻き戻し/停止/早送りはその下の細いボタンになっている。それ以外の機能は、付属の液晶リモコンで操作する。

高い操作性とUSB採用の高速データ転送

## Rio 500

Rio PMP300の後継機Rio 500には、さまざまな改良が加えられている。まずは、USBポートの採用だ。MP3プレイヤーの中でUSBポートを備えているのは、今のところRio 500だけ。今回試用したのは試作品だったため転送時間の計測はできなかったが、かなり短縮されるはずだ。

インターフェイスがシンプルになり、操作性が



向上したのも特徴の1つだ。本体前面には再生/ポーズ、停止、早送りと巻き戻しボタンだけが配置され、再生モードや音質は右側面のボリュームダイヤルで変更する。ボリュームダイヤルを押すとディスプレイにメニューが表示されるので、ここから適当なメニューを選ぶしくみだ。



本体を上から見たところ。左からヘッドホン端子と電源レバー。電源レバーはOFF/HOLD/ONの切り替えになっている。

側面にUSBポートが用意されたことで、MP3データファイルの転送時間は、Rio PMP300の約3分の1に短縮される。



¥ 34,800 (販売価格)

発売元 (株)ダイヤモンド・マルチメディア・システムズ

問い合わせ: 03-5695-8401

www.diamondmm.co.jp



人気のスケルトンボディで登場したRio 500。写真のほかブルーのスケルトンとシルバーの全3色が用意されている。



FM放送も聴けるマグネシウムボディのプレイヤー

## Creative NOMAD デジタルオーディオプレイヤー 64MB

録音機能やFMチューナー付きNOMADのボディは、プラスチックより強度があるマグネシウム製だ。しかも軽い。これなら安心して持ち歩ける。操作スイッチも、携帯性を考慮した配置になっている。本体前面には特徴的な円形のディスプレイ

とマイクがなく、スイッチ類はすべて側面に配置されているのだ。しかも、誤操作を防ぐため、スイッチは外枠より少しへこんだ位置に取り付けられている。もっとも、スイッチが小さく側面の幅が親指より狭いため、人によっては押しづらいかもしれない。



ヘッドホン端子とフラッシュメモリーカードスロット。

上からカードスロットオープン、ボリューム、モード切り換え、リピート/イコライザー、ホールドレバー。

操作ボタンはすべて側面。向かって右側には再生/停止/録音ボタンなどが配置されている。



¥ 30,000前後 (販売価格)

発売元 : クリエイティブメディア(株)

問い合わせ : 03-3256-5577

www.creaf.co.jp/nomadworld/

タイトなボディから出てくるタイトなサウンド

## MPlayer3

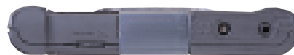
ボリューム以外のスイッチはすべてディスプレイ下に配置されている。再生モードを変えたり、MP3ファイルをダウンロードしたりするには、まずディスプレイにメニューを表示。そこから必要な機能を

選択する。

データはシリアルポート経由で転送するため時間がかかる。MMCを2枚装着できるが、1枚単位でしか転送できず、追加保存もできない。ファイルを転送すると、保存されているファイルがすべて消えてしまうのだ。しかし、音はいい。今回取り上げた中でも、トップクラスの音質だ。



底面中央にMMCのカードスロットがあり、透明カバーで保護されている。その右側は電源コネクタとデータ転送用のポート。



Win版 ¥ 26,800

Win/Mac版 ¥ 29,800 (販売価格)

発売元 : (株)フューチャーズ

問い合わせ : 03-5468-3616

jp.mplayers3.com/site\_j/frame\_j.htm



ほかのプレイヤーに比べて多少大きめで、本体左右に電池ボックスがあるため、両手で抱えて持つとしくりくる。

大きめのスイッチで簡単操作

## Rio PMP300

Rio 500の登場で少々かすんでしまった感のあるRio PMP300だが、操作性の良さではほかのプレイヤーに引けを取らない。なんといっても、ディスプレイの下に配置された大きなスイッチがいい。これなら、ポケットに入れたまま操作できる。オプ

ションのリモコン付きイヤホンがあれば、携帯時の操作性はさらにアップする。

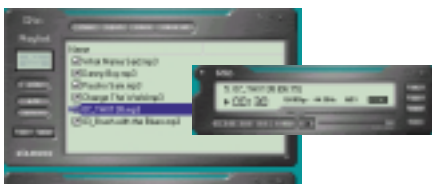
録音、電話帳といった付加機能はないが、ランダム/リピート再生機能は付いている。なお、ディスプレイには、トラック数と演奏時間が表示される。

¥ 19,800 (販売価格)

発売元 : (株)ダイヤモンド・マルチメディア・システムズ

問い合わせ : 03-5695-8401

www.diamondmm.co.jp



しっかり厚みがあるので、付属のベルトクリップの利用には注意したい。



大きなボタンとディスプレイ表示で使いやすさが魅力。重厚感のある携帯型MP3プレイヤーの初代機。

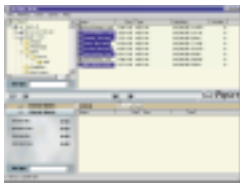




最大4時間の録音機能と最大250件の電話帳機能を装備

## jazPiper MV-32P

シルバーのボディに楕円形のディスプレイと丸い4方向スイッチ。レトロな雰囲気のあるjazPiperは、通常再生のほかリピート/ランダム再生もでき、4種類の音質がプリセットされている。ディスプレイには曲名やアーティスト名、演奏時間のほか、再



本体を上から見たところ。左から音質切り換え、リピート、ボリュームの各種ボタンおよびヘッドホン端子。



生モードや音質名も表示される。

MP3プレイヤーとしてのスペックは平均的だが250件まで登録できる電話帳機能と録音機能を備えているのが特徴だ。なお、録音時間は標準で2時間、32Mバイトのスマートメディアを増設した場合は4時間まで可能となっている。

¥ 25,000 (標準価格)

発売元 : スパーク(株)  
問い合わせ : 03-3473-2731  
\*ホームページは10月開始予定

本体前面にマイクと録音ボタンが用意されている。モードボタンで音楽と音声、電話帳などの切り換えを行う。



側面のデータ転送ポートはスライド式のカバーで保護されている。

コンパクトフラッシュにMP3ファイルを高速コピー

## Fresh Music

MP3プレイヤーで面倒なのは、ファイルのダウンロード。ケーブルでパソコンとつなぎ、専用ソフトでファイルを転送しなければならないからだ。記録メディアにコンパクトフラッシュ(CF)カードを使うFresh Musicに、そうした作業は必要ない。アダプターに取り付けたCFカードをパソコンのPCMCIAスロットに挿入すれば、ドラッグ&ドロップでファイルをコピーできる。

再生は全曲リピートのみで音質も変更できず、

ディスプレイも付いていない。スイッチを入れるとLEDが点灯するだけと極めてシンプルだ。外見の安っぽさは気になるが、単3アルカリ乾電池2本で約20時間連続再生できるのは大きなメリットだ。

パソコンとのデータ転送は付属のPCカードアダプターを利用する。



側面にヘッドホン端子と電源ボタンがあり、CFカードスロットは本体の上面にある。

¥ 11,800 (販売価格)

発売元 : (株)フェイス  
問い合わせ : 03-3526-3285  
\*www.faith-go.co.jp

本体のみだと、とにかく軽く、素材もアルミっぽい華奢な印象だ。また、ディスプレイがないなど低価格に抑えられた製品。



ライターサイズの超小型MP3プレイヤー

## ポケットデジタルオーディオ

ポケットデジタルオーディオは、どこかに置き忘れてしまうのではないかと不安になるくらい小さい。スイッチも、ダイヤル式のボリューム、再生/一時停止、停止、早送り/巻き戻しの4つだけだ。当然、機能も最小限にとどめられ、再生は全曲リピート

のみ。LEDもないから、見ただけでは動いているのかどうかわからない。付属品もいっさいなし。MP3を再生するには、別途マルチメディアカード(MMC)を買い、MMCにファイルを転送するためにオプションのMMCリーダー/ライターを購入しなければならない。

データの転送にはオプションで提供されるMMCリーダー/ライター(4,800円)を別途購入する必要がある。



左から再生/一時停止、停止、早送り/巻き戻しボタン、ヘッドホン端子。

¥ 6,800 (販売価格)

発売元 : ダイナミック・ネイキッド・オーディオ(株)  
問い合わせ : 03-5466-4491  
\*www.dynamicnakedaudio.com/index\_j.html

ライター程度の大きさ。単4アルカリ電池1本で駆動する。







注目

# 携帯型音楽プレイヤーの異端児が面白い!

高音質! カードサイズの携帯プレイヤー

## SolidAudio Player SD-1

カードサイズのSD-1は記録メディアにスマートメディアを採用した、SolidAudio形式対応のプレイヤーだ。SolidAudioには、NTTサイバースペース研究所が開発した圧縮技術「TwinVQ」が使われている。TwinVQは、MP3よりさらに圧縮率が高く、CD並みの音質でデータを18分の1程度に圧縮できるのが特徴だ。

SD-1の音質は平均的なMP3プレイヤーよりかなりいい。データをダウンロードする



SD-1用の音楽データをパソコンからID付きのスマートメディアに書き込む専用ユニット「SD-R」が別途販売されている。

には、Solid Audio専用のスマートメディアリーダーライター「SD-R」(オープンプライス)か、汎用型のスマートメディアリーダーライター「FlashGate II」(標準価格13,000円)が必要だ。どちらもUSB対応だから、データ転送も短時間ですむ。

¥ 32,800 (販売価格)

発売元 (株)ハギワラシスコム  
問い合わせ: 052-223-1301

[www.hscjpn.co.jp/whatnew/new1.html](http://www.hscjpn.co.jp/whatnew/new1.html)



本体寸法がW86 x D10 x H54ミリ、重量がバッテリーを含んで52グラムの小型軽量が自慢のSD-1。

小型ながらも、側面に操作ボタンが配置されている。上からヘッドホン端子、ボリューム、停止/再生ボタン。



MP3プレイヤーにもなるパームサイズPC

## CASSIOPEIA E-500

CASSIOPEIA E-500はウィンドウズCE搭載のパームサイズPCだ。ポケットワードやポケットエクセルといったビジネスアプリケーションが使える、もちろんインターネットにも接続できる。マルチメディア機能が充実しているのもE-500の特徴の1つ。添付されている「モバイルオーディオプレイヤー」(画面)を使えば、MP3ファイルを再生できる。

ファイル転送はクレードルを使ってシリアルポート経由で行うと、CFカードアダプターを使いICF

カードに直接書き込む2つの方法がある。転送速度を考えると、CFカードを使うほうがよさそうだ。



上からヘッドホン端子、取り消しボタン、アクションコントロール、IrDAポート。

ウィンドウズCE日本語版を搭載した手のひらサイズのPDA。MP3を再生できるモバイルオーディオプレイヤーをCD-ROMに標準添付している。

¥ 72,800 (販売価格)

発売元 カシオ計算機(株)  
問い合わせ: 03-5334-4828

[www.casio.co.jp/ppc/esool/](http://www.casio.co.jp/ppc/esool/)



### まだある MP3 プレイヤーの実情

MP3ブームの過熱ぶりは、9月初めに幕張メッセで開かれた「WORLD PC EXPO 99」でも見てとれた。首から下げるペンダント型、ラジカセやカセットレコーダーにセットして使えるカセットテープ型など、趣向を凝らしたプレイヤーが何機種も展示されていたのだ。中でも目立っていたのが、アイ・オー・デ

ータ機器から発表されたばかりの「Hyper Hyde MDM-H2」(写真)。MMCを採用した手のひらサイズのHyperHydeは、多くの人の注目を集めていた。

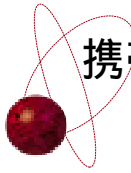
MP3プレイヤーには携帯型が多いが、据え置き型 **Jump01** もある。さらに、CD-Rに焼いたMP3ファイルをプレイステーションで

再生できる「PSXAMP」 **Jump02** という製品まで出ているのには驚いた。まさに乱立。MP3プレイヤーの新製品ラッシュは、この先まだしばらくは続きそうだ。

**Jump01** [www.rasteme.co.jp/sound/mp3/smp\\_j.html](http://www.rasteme.co.jp/sound/mp3/smp_j.html)

**Jump02** [www.psxamp.com](http://www.psxamp.com)





# 携帯型MP3プレイヤー主要機能一覧表

	MPMan MP-F30	DAP64	FMP300S	Rio 500	Creative NOMAD デジタルオーディオプレーヤー-64MB
発売元	萬世電機(株)	スパーズ(株)	(株)富士通パーソナルズ	(株)ザイアモド・マルチメディア・システムズ	クリエイティブメディア(株)
開発元	SAEHAN情報システム(韓国)	EISEN	LG ELECTRONICS INC.	Rio Port, Inc.	Creative Technology Ltd.
問い合わせ先	0120-837-010	03-3473-2731	0120-65-8180	03-5695-8401	03-3256-5577
標準価格	オープンプライス	オープンプライス	25,800円	オープンプライス	34,800円
販売(実勢)価格	27,800円	28,800円	20,000円前後	34,800円	30,000円前後
評価(5段階)	1)携帯性 2)操作性 3)記録メディア 4)バッテリー持続時間 5)音量調整 6)音質 7)ディスプレイ表示 8)データ転送速度 9)エンコーダー 10)付加機能				
本体寸法(W×D×H)	68×17×94(mm)	90×60×17(mm)	71×19×95mm	63×19×91(mm)	58×17×85(mm)
重量	70g(本体のみ)	57g(本体のみ)	約60g	約78g(電池別、キヤリングケース込み)	約64g(本体のみ)
記録メディア	標準 内蔵メモリ-64MB 拡張最大(オプション) 内蔵メモリ-32MB	なし*1 内蔵メモリ-64MB*1	MMC16MB×2 MMC最大64MB×2(メモリの市場流通後)	スマートメディア32MB	なし 内蔵メモリ-32MB + スマートメディア32MB
S/N比	90dB	85dB	85dB	96dB	96dB
周波数特性	20Hz-20kHz	20Hz-20kHz	20Hz-20kHz	-	20Hz-20kHz
対応OS	Win 95/98	Win 95/98	Win 95/98	Win 98, Mac OS8.6以上	Win 95/98
利用可能バッテリー	標準添付 単3アルカリ乾電池×1 ACアダプター	単3アルカリ乾電池×1	充電電池×1	単3アルカリ乾電池×1	単4ニッケル水素充電電池×2 ACアダプター
連続再生時間	-	-	単4アルカリ乾電池×2 6時間(充電電池) 8時間(アルカリ乾電池)	13時間	単4アルカリ乾電池 5、6時間(充電電池) 8、9時間(アルカリ乾電池)
音質コントロール	6段階(NOMAL、CLASSIC、JAZZ、ROCK、DISCO、POP)	BASS、TREBLE各20段階	2段階(X-LIVE/NORMAL)	3段階(ロック、クラシック、ジャズ) <sup>2</sup>	4段階(標準、クラシック、ジャズ、ロック)
データ転送形式	パラレル	パラレル	パラレル	USB	ドッキングステーションによる/パラレル
ID3対応					
音声録音付加機能	メモ帳および電話帳	x	x	x	x
付属のエンコーダー	MP3 STUDIO Unrea(50回限定)	MP3形式以外のファイルのリードライト	MS-DOSファイルのリードライト	MP3 Studio イントロパック	Rio Audio Manager
付属品	ヘッドホン、単3アルカリ乾電池、25-18ピンパラレルケーブル、ACアダプター、インストールCD	ソフトケース、単3アルカリ乾電池、ヘッドホン、25-15ピンパラレルケーブル、DAP Manager	リモコン付ヘッドホン、MMC16MB×2、パラレルケーブル、インストールCD、充電器、充電器、キヤリングケース	ヘッドホン、キヤリングケース、専用USBケーブル、単3アルカリ乾電池、マネージャーソフト、音楽と音声のサンプルコンテンツCD	ヘッドホン、単4ニッケル水素充電電池、ドッキングステーション、ACアダプター、パラレルケーブル、取扱いマニュアル、インストールCD

\*1 初期版。通常は標準32MB、オプション32MB \*2 このほか、トランスポートのコントロールによるカスタマイズ可能

	MPlayer3	Rio PMP300	JazPiper MV-32P	Fresh Music	ポケットデジタルオーディオ
発売元	(株)フューチャーズ	(株)ザイアモド・マルチメディア・システムズ	スパーズ(株)	(株)フェイス	ダイナミック・ネイクド・オーディオ(株)
開発元	PONTIS GmbH(ドイツ)	Diamond Multimedia Systems, Inc.	RFC Distribution(S)Pte Ltd.	NTK Computer(台湾)	#
問い合わせ先	03-5468-3616	03-5695-8401	03-3473-2731	03-3526-3285	03-5466-4491
標準価格	オープンプライス	オープンプライス	25,000円	オープンプライス	オープンプライス
販売(実勢)価格	28,800円(Win版) 29,800円(Win、Mac版)	19,800円	-	11,800円	6,800円
評価(5段階)	1)携帯性 2)操作性 3)記録メディア 4)バッテリー持続時間 5)音量調整 6)音質 7)ディスプレイ表示 8)データ転送速度 9)エンコーダー 10)付加機能				
本体寸法(W×D×H)	110×18×70(mm)	64×16×89(mm)	66×18×90mm	58×18×96(mm)	46×16×53(mm)
重量	約90g(本体のみ)	約70g(本体のみ)	74g(本体のみ)	56g(本体のみ)	約30g(本体のみ)
記録メディア	標準 MMC16MB×1 拡張最大(オプション) MMC最大64MB×2(メモリの市場流通後)	内蔵メモリ-32MB スマートメディア32MB	内蔵メモリ-32MB スマートメディア32MB	90dB以上 スマートメディア32MB	コンパクトフラッシュ96MB
S/N比	-	90dB以上	90dB	-	-
周波数特性	-	20Hz-20kHz	20Hz-20kHz	-	-
対応OS	Win 95/98/NT4.0以上(Mac OS7.51以上)	Win 95/98、Mac	Win 95/98	-	-
利用可能バッテリー	標準添付 単3アルカリ乾電池×2	単3アルカリ乾電池×1	単4アルカリ乾電池×2	単3アルカリ乾電池×2	単4アルカリ乾電池×1
連続再生時間	10~14時間	12時間	10時間	20時間	約4時間
音質コントロール	あり	3段階(ロック、クラシック、ジャズ)	DSPイコライザー	なし	3段階
データ転送形式	シリアル	パラレル	パラレル	PCカードアダプター	MMCリーダーによる/パラレル
ID3対応					
音声録音付加機能	x	x	(32MBで2時間、最大4時間録音可能)	x	x
付属のエンコーダー	なし	なし	ヴォイスレコーディング、電話帳機能(250人分) Jet-Audio	なし	なし
付属品	Win版あり、Mac版なし	JukeBox by MusicMatch(50回まで使用可)	単4アルカリ乾電池、ヘッドホン、クイックリリース・ベルトクリップ、パラレルケーブル、JazPiper Desk	PCカードアダプター、ストラップ	なし

## MP3 ファイルはここからGET!

MP3 ファイルをダウンロードできるサイトはいくらでもあるが、注意しなければならぬのがCDの不正コピー。著作権を無視して不正コピーしたファイルのダウンロードは、絶対に避けよう。ダウンロードするなら、そうした問題がクリアさ

れているサイトに限る。その点、MP3.comやEMusic.comなら安心だ。どちらもサンプル曲を無料でダウンロードでき、MP3.comではCDが、EMusic.comでは曲データが1曲単位でダウンロード販売されている。



MP3.com Music  
www.mp3.com/music/



EMusic.com  
www.emusic.com



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)